

振替払込
受付証明書
(E票)
貼付欄

必ず郵便局・銀行
等の窓口で振り込
みください。

申込場所

北海道大学高等教育推進機構1階 6番公開講座窓口

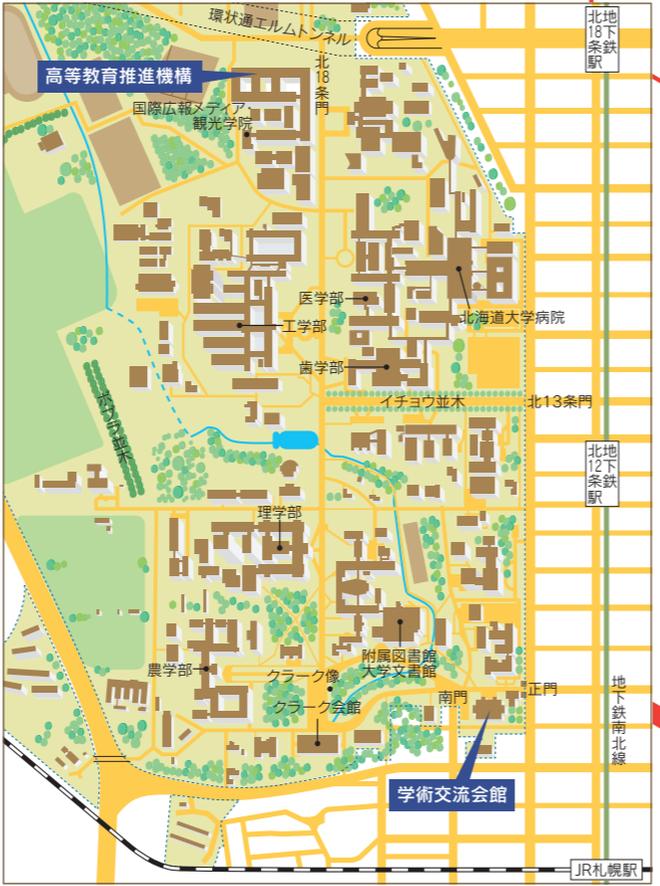
実施会場

北海道大学高等教育推進機構1階N1講義室

札幌市北区北17条西8丁目
地下鉄「北18条」駅下車徒歩9分(約500m)
中央バス「北18条西5丁目」下車徒歩7分(約400m)

(7/16のみ)北海道大学 学術交流会館 小講堂

札幌市北8条西5丁目
札幌駅下車徒歩10分(約300m)



●自家用車で来学について
駐車場狭いため、できる限り公共交通機関をご利用ください。やむを得ず自家用車で来学される方は、北20条東門から入構願います。その際、入り口ゲートで発券された入構精算券は、必ず公開講座担当者へ提出し、確認印を受けてください。確認印がないと出構できません。駐車場は高等教育推進機構北側の駐車場をご利用ください(北13条東門から入構した場合、機構北側駐車場へは通り抜けできません)。また、学術交流会館付近には駐車スペースがありません。なお、出構時に入構料として500円を徴収いたしますので、あらかじめご了承ください。

テーマ
去る時代、
来る時代、
考える時代を

平成30年度 北海道大学公開講座

申込期間 平成30年 6/1(金) ▶ 6/22(金)
《土曜・日曜を除く》9:00~17:00

日程 平成30年 7/2(月) ▶ 7/23(月) の月曜日 及び木曜日
(7月16日(月・祝)は2講座開催)の全8回

時間 18時30分~20時30分
7月16日(月・祝)のみ
13時00分~14時45分 15時15分~17時00分

会場 北海道大学高等教育推進機構
1階N1講義室
(札幌市北区北17条西8丁目)
(7/16のみ)北海道大学 学術交流会館 小講堂
(札幌市北8条西5丁目)

受講料 5,000円 1回1,500円での受講も可能です

全学企画

講師略歴

第1回	電子科学研究所 教授 小松崎民樹 (こまつざき たみき)	総合研究大学院大学博士課程修了。博士(理学)。基礎化学研究所、シカゴ大学、神戸大学などを経て2007年から現職。15年から電子科学研究所附属社会創造数学研究センター長。数理科学の理論と分子レベルでの化学反応の観測などを駆使し、専門分野を限定せずに生命システムの原理の解明に挑んでいる。
第2回	経済学研究院 准教授 満 勇 (みつぞの いさむ)	東京大学大学院博士課程修了。博士(文学)。2014年から現職。専門は日本経済史、日本近現代史、とくに小売業や消費に関する研究。著書に『商店街はいま必要なか―「日本型流通」の近現代史』(講談社現代新書)、『日本型大衆消費社会への胎動―戦前期日本の通信販売と月賦販売』(東大出版会)など。
第3回	文学研究科 教授 白木沢旭児 (しらきざわ あさひこ)	京都大学文学部卒、同大学院農学研究所博士課程退学。博士(経済学)。北海道大学文学部助教授などを経て、2002年から現職。専門は日本近現代史、経済史。昭和初期の統制経済や、日中戦争期の大陸経済建設を研究。著書に『日中戦争と大陸経済建設』(吉川弘文館)、『大恐慌期日本の通商問題』(御茶の水書房)など。
第4回	北海道大学 総長 名和 豊春 (なわ とよはる)	北海道大学大学院工学研究科修士課程修了。博士(工学)(東京工業大学)。秩父セメント(当時)中央研究所などを経て、1997年北大大学院工学研究科助教授、2004年同教授。専門はコンクリートを始めとする建築構造・材料。14年~17年工学研究院長・工学院院长・工学部長、17年4月から第19代北大総長。
第5回	メディア・コミュニケーション 研究科 教授 藤野 彰 (ふじの あきら)	早稲田大学政治経済学部卒。読売新聞記者として北京特派員、国際部次長、中国総局長、編集委員などを歴任。中国に通算11年駐在。2012年から現職。専門は現代中国論。中国共産党史の観点から中国政治の実態に迫る。著書に『嫌中』時代の中国論(柏艸舎)、『現代中国を知るための44章』(明石書店)など。
第6回	公共政策学連携 研究部 講師 池 炫周直美 (ちーひょんじゅう なおみ)	カナダ・プリティッシュコロンビア大学卒、北海道大学大学院法学研究科博士課程修了。博士(法学)。同研究科助教などを経て2011年から現職。専門は東アジア現代政治。東アジアにおける人口移動と移民、セクシュアリティのあり方、ジェンダー政策、民主化などについて研究している。
第7回	保健科学研究院 教授 村田 和香 (むらた わか)	北海道大学医療技術短期大学部卒、広島大学大学院博士課程修了。博士(保健学)。札幌市内の内科病院勤務、北大医療技術短期大学部助教授などを経て2003年から現職。専門は作業療法学、とくに高齢期における作業療法。著書に『「私らしさ」を支えるための高齢期作業療法 10の戦略』(医学書院)など。
第8回	情報科学研究科 教授 川村 秀憲 (かわむら ひでのり)	北海道大学大学院工学研究科博士課程修了。博士(工学)。北大大学院情報科学研究科助手、准教授などを経て2016年から現職。人工知能やマルチエージェントシステムの研究が専門。大学発ベンチャーの経営にも携わり、研究室の学生とともに人工知能技術の社会実装に関する実践研究に取り組んでいる。



テーマ 去る時代、来たる時代を考える

講座内容

天皇陛下の退位とそれに伴う改元を来年に控えて、ひとつの時代の終わりや、新たな時代の幕開きを感じている方も少なくないことと思います。本講座では、おおよそひと世代にあたる平成の30年間で、この国にとって、また世界的な視野からみて、いかなる時代であったかを、さまざまな専門分野の観点からふりかえります。あわせて、そもそも時代とは何か、それをどのように捉えることができるか、といった根源的な問いにも思いをめぐらせつつ、来るべき時代についても皆さんと一緒に展望したいと思います。

申込期間	平成30年6月1日(金)～6月22日(金) 《土日を除く》9:00～17:00
日程	7月2日(月)～7月23日(月)の月曜日及び木曜日 (7月16日(月・祝)は2講座開催)の全8回
時間	18時30分～20時30分 7月16日(月・祝)のみ13時00分～14時45分及び15時15分～17時00分
定員	100名(7月16日(月・祝)のみ単発で250名まで受講可能)
受講料	5,000円(1回1,500円での受講も可能です) ※専用の払込票にてお支払いください。振替払込受付証明書(以下、E票)は、受講申込書の所定の位置に貼付のうえ提出願います。なお、既納の受講料はお返しできませんのでご了承ください。
会場	北海道大学高等教育推進機構1階N1講義室 (札幌市北区北17条西8丁目) (7/16のみ)北海道大学 学術交流会館 小講堂 (札幌市北区北8条西5丁目)
受講資格	18歳以上の方であればどなたでも受講できます。 (学歴・職歴は問いません)
特定回の受講	全8回の講義のうち、定員に余裕がある場合は、特定回のみ単発で受講することが可能です。希望される講義の開催3日前までに問い合わせ先までご連絡ください。なお、特定回の受講料は1回あたり1,500円です。
修了証書	6回以上受講した方には、最終講義終了時に修了証書を交付します。
道民カレッジ	本講座は道民カレッジ連携講座として指定されています。 (教養コース 17単位)※6回以上の出席が必要

申込手続きの流れ			
①	はじめに、定員の超過の有無をご確認ください。		
	・定員に余裕がある場合		
②	専用の払込票により、郵便局または銀行等の窓口で受講料をお支払いください。その際、控えとして受け取った「振替払込受付証明書(以下、E票)」は、受講申込み時に必要ですのでなくさないようご注意ください。		
③	E票を裏面に貼付した受講申込書を公開講座受講日に会場受付へご提出ください。		

問い合わせ・申込先

国立大学法人北海道大学学務部学務企画課総務担当(教育支援)
〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 高等教育推進機構 1階 6番公開講座窓口 電話 011-706-5567(直通)

日程	講義題目	講師	講義概要
第1回 7/2月	新概念コンピューティングとは?	電子科学研究所 教授 小松崎 民樹	現在、自然現象そのものから「計算」のやり方自体を見直す研究が活発になってきています。本講義では、北大が日立製作所と共同で研究開発しているイジングコンピュータの原理と応用をできるだけ平易にご紹介したいと思います。
第2回 7/5木	日本流通史をとっての「平成」 —商店街に注目して—	経済学研究院 准教授 満園 勇	歴史を元号で区切ることに意味があるかどうかは分野や関心によりますが、日本流通の歴史をあえて「平成」という時代で区切ってみると、何がみえてくるでしょうか? 商店街に注目しながら考えてみたいと思います。
第3回 7/9月	昭和史と平成史 —後世の史家は何を思うのか—	文学研究科 教授 白木沢 旭児	昭和史というと、戦争、焼け跡からの復興、経済成長などが思い浮かびます。それでは平成史は、いったい何がテーマになるのでしょうか? 未来の歴史家になったつもりで、考えてみたいと思います。
第4回 7/12木	世界的課題解決に貢献する 国立大学の使命 —北海道大学の挑戦—	北海道大学 総長 名和 豊春	日本の大学を取り巻く世界的情勢について触れ、高度知識基盤社会の進展を促すイノベーション創出における国立大学の使命を明確にした後、北海道大学の研究・教育および地域貢献における挑戦的活動についてお話しします。
第5回 7/16月祝	中国の改革・開放40年と 習近平体制の行方	メディア・コミュニケーション研究院 教授 藤野 彰	今や世界第2位の経済力を誇り、大国化の道を歩む中国。今年は中国を激変させた改革・開放の始動から丸40年の節目に当たります。発展の軌跡を踏まえつつ、政権2期目に入った「習近平の中国」の現状と行方を考えます。
第6回 7/15月祝	移民、民族、アイデンティティ: 多文化共生は可能なのか?	公共政策学連携研究部 講師 池 炘周 直美	「移民」に焦点を当て、彼らを取り巻く状況や直面する問題など、その「今」に迫ります。昨今ヨーロッパ、アメリカ、そして日本でも移民に対する排斥運動が増加していますが、こうした現象をどのように理解するべきか、解決の糸口はあるのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。
第7回 7/19木	人生90年時代に自分らしく 生きることを目指す	保健科学研究院 教授 村田 和香	人はそれぞれ自分にとっての意味にこだわって、自分らしく生きようとしています。しかし、老化に加え、定年退職や子どもの独立など社会的役割の変化の影響を強く受け、悩み苦しむことがあります。自分らしさにこだわり、人生をまとも上げる高齢期を考えます。
第8回 7/23月	人工知能がもたらす未来	情報科学研究科 教授 川村 秀憲	人工知能によって画像やテキストなどの認識能力が飛躍的に向上し、身近なビジネスやサービスのあり方が変わってきています。人工知能はどのような原理で動作するのか、何ができるのかを最先端の研究を紹介しながら説明します。

自家用車での来学について

駐車場狭隘のため、できる限り公共交通機関をご利用ください。やむを得ず自家用車で来学される方は、北20条東門から入構願います。その際、入り口ゲートで発券された入構精算券は、必ず公開講座担当者へ提出し、確認印を受けてください。確認印がないと出構できません。駐車場は高等教育推進機構北側の駐車場をご利用ください(北13条門から入構した場合、機構北側駐車場へは通り抜けできません)。また、学術交流会館付近には駐車スペースがありません。なお、出構時に入構料として500円を徴収いたしますので、あらかじめご了承ください。

平成30年度 北海道大学公開講座	
受講申込書	
ふりがな氏名	年代 (—0歳代) 男・女
〒	
現住所	
TEL ()	—
e-mail :	

(アンケート)下記に該当する部分に○をつけてください。

問1. あなたはこの受講案内・申込書をどのようにして入手されましたか。

1. 「北大の講義を聞きに来ませんか?」のチラシを見て請求した(チラシはどこで受け取りましたか:)
2. 過去に受講したことがあり、直接郵送されてきた
3. 勤務先や学校でもらった
4. 区役所や公共施設、書店などでらった(入手先をお書きください:)
5. 友人・知人からもらった
6. 北大HPを見て請求した
7. その他()

問2. 受講を申し込むにあたり、どなたかを誘われましたか。

- 誘った(1. 友人、 2. 知人、 3. 家族、 4. その他)
- 誘わなかった(問4へお進みください)

問3. 問2で「誘った」と答えられた方は、誘った結果はどうでしたか。

1. 申し込んだ 2. 申し込まなかった 3. わからない

問4. あなたは過去に大学が主催する公開講座を受講したことがありますか。

1. ある 2. ない

問5. 問4で「ある」と答えられた方は、以下から該当するものを全てお選びください。

1. 北海道大学の全学企画の公開講座を受講したことがある。
2. 北海道大学の各研究科等が主催する公開講座を受講したことがある。
3. 北海道大学以外の大学公開講座を受講したことがある。

問6. あなたは道民カレッジの学生になっていますか。

1. はい カレッジ生番号() 2. いいえ

問7. 今後、受講案内の送付を希望しますか。

1. はい 2. いいえ

・担当者記入欄

日付	番号
----	----